

政策 5 安心な「暮らし」を守る (防災・生活環境)

施策 25 防災・減災・消防

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



後期基本計画

施策 1

施策 2

施策 3

施策 4

施策 5

施策 6

施策 7

めざす姿

○市民が日頃から防災に対する意識を高く持つことで、災害が起こった時に適切な行動をとることができ、被害を最小限に抑える備えができています。

現状・課題

(1)災害における「自助」の啓発強化

気候変動の影響を受け、近年全国各地で災害級の豪雨が頻発しています。いつ発生してもおかしくない自然災害に備えるため、自助の重要性がますます高まっています。

(2)防災に関する人材育成

自主防災会組織の高齢化が進み、地域防災力の低下が危惧されます。組織力の強化とともに、防災士など地域における防災リーダーの育成及び連携が求められています。

(3)要配慮者への支援

障がい者、高齢者、乳幼児などの災害時における要配慮者のために、関係機関と協力し、避難支援を講じることが必要です。

(4)消防団組織の見直し

消防団員のサラリーマン化が進み、団員確保が困難になってきています。消防団員の処遇改善や、規律を過度に重視する訓練の廃止などの負担軽減が求められています。

(5)気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化

水災害が頻発化する中、正確な情報をいち早く市民に伝えることが重要です。災害時に防災行政無線が聞こえづらい地域もあるため、防災情報発信の複層化が必要です。



消防団

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
防災・減災・消防の満足度(アンケート結果)	90.2% (2022)	UP
自主防災会主催の防災訓練延べ開催数	37回 (2021)	150回
あんしんメール登録者の割合	35% (2021)	40%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	災害に対する市民の自助意識の啓発を行います。	●	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災訓練の実施 ○ 防災講演会の実施 ● 出前講座の充実(小中学校・老人会への防災教室) ● 災害避難カード作成の推進
	自主防災会による各種防災訓練の実施を促進します。	●	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災会防災訓練助成 ● 自主防災会資機材整備助成 ● 自主防災会の連絡網の整備 ◇ 防災リーダーの育成及び連携
	防災施設や防災資機材などを整備し、災害に備えます。		<ul style="list-style-type: none"> ● 防災備蓄倉庫の整備 ◇ 避難所の環境整備 ◇ 自宅での備蓄の促進
	常備消防と非常備消防の活動を支援します。	●	<ul style="list-style-type: none"> ● 中濃消防組合の機器整備 ● 学生隊、女性消防団員、災害支援団員制度の周知 ○ 消防団活性化計画の推進
	水災害の激甚化・頻発化に備えた危機管理体制を整備します。	●	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務継続計画、タイムラインの運用 ● 防災関係組織との連携 ○ (仮称)防災基本条例(自助・共助のための条例)の制定・運用 ● 民間企業、他自治体との防災協定の締結推進 ● 情報発信手段の複層化(あんしんメール、公式LINE登録の促進、アプリ等の導入)

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

関連計画

- 関市地域防災計画
- 関市国土強靱化地域計画(2019～2024)
- 関市業務継続計画
- 消防団活性化計画(2023～2027)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

施策 26 交通安全・防犯対策

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



めざす姿

○市民一人ひとりが交通安全や防犯の知識を持ち、事故や犯罪の未然防止による安全な日常生活を送っています。

現状・課題

(1)子どもと高齢者の交通事故防止

交通専任指導員による子どもから高齢者向けの交通安全教育を推進するとともに、事故の危険性が高い区間を明確化し、市民との情報共有を積極的に行うことが重要です。

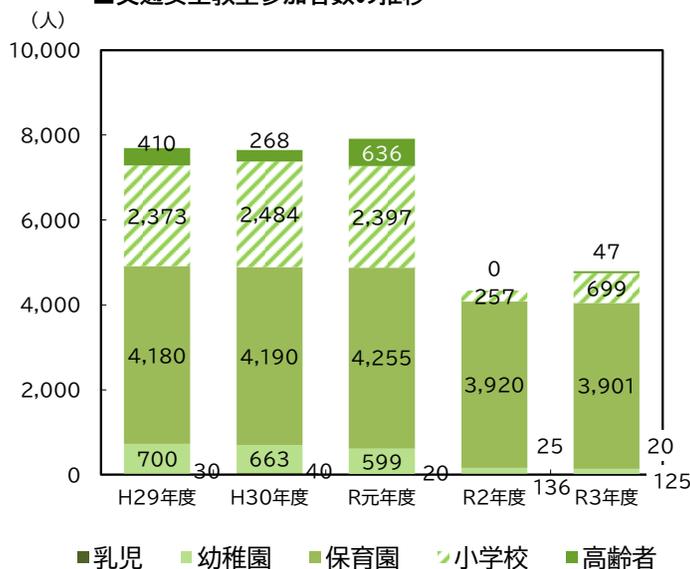
(2)運転者の安全意識啓発

高齢の自動車運転者による事故が多発していることから、事故防止につながる様々な取組が求められています。また、令和4(2022)年4月1日の岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例の施行に伴い、自転車利用者に対する自転車保険加入の義務化やヘルメット着用努力義務化がなされており、今後一層の啓発が必要です。

(3)市民の防犯意識向上・地域の防犯活動の推進

身近な犯罪の発生を防止するには、一人ひとりの防犯意識を高めるための啓発が必要です。また、安全に暮らせるまちを実現するために、個人での防犯対策だけでなく、地域、警察、学校など関係機関との連携を強化し、防犯活動に取り組む必要があります。

■交通安全教室参加者数の推移



資料:危機管理課

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
交通安全・防犯対策の満足度(アンケート結果)	91.1% (2022)	UP
交通安全教室への参加者数(年間交通安全教室参加者数)	4,792人 (2021)	9,000人

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	子どもや高齢者に対し、交通安全の知識を広めます。		子ども・高齢者向け交通安全教室開催 高齢者交通安全大学校の支援 交通安全情報の発信(事故多発場所等) ショッピングセンター等での啓発指導
	自動車及び自転車の運転者に対し、交通安全意識を啓発します。		四季の交通安全運動期間街頭指導 交通関所(ドライバーへの個別啓発)の実施 薄暮時のライト点灯街頭指導 高齢者のドライビングスクールの開催 交通少年団自転車大会の支援 ○ 自転車保険加入、ヘルメット着用の普及啓発 ○ 中濃地区交通安全協会への支援
	警察、防犯協会、防犯活動団体と地域が一丸となり、防犯体制を強化します。	● ● ● ●	中濃地区防犯協会、自治防犯防災会の支援 防犯情報の発信 警察や防犯協会などとの連携 青色防犯パトロール活動の実施 自主的な防犯活動の支援 防犯カメラの設置助成

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



交通安全教育

関連計画

なし

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

施策 27 環境保全

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



めざす姿

○多様な生態系や自然環境の保全に対する市民意識が向上し、人と自然が共生するまちになります。

現状・課題

(1)多様な生態系の保全

森林が市域の約8割を占める本市では、河川や森林に貴重な生物が生息・生育しています。身近な生物の保全や生態系の保護に努めるとともに、市民や事業者にも生物多様性の理解を深めてもらうことが大切です。

(2)自然環境の保全

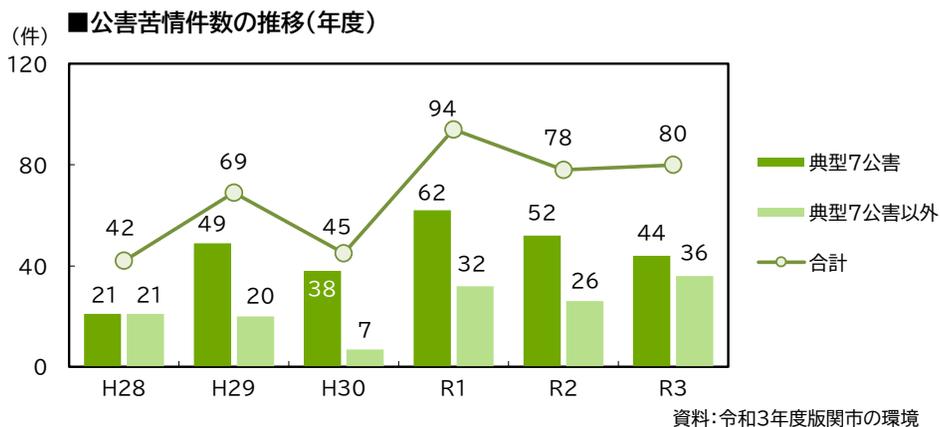
マイクロプラスチックによる海洋汚染など、市民生活が環境に与える影響が懸念されています。市民の生活と関わりをもつ場として河川、森林等の自然環境の保全に関する知識や意識を高める必要があります。

(3)公害防止の促進

自然環境を保護するためには、公害や化学物質による汚染などを未然に防止する必要があります。騒音及び振動に関する指導や定期的な水質検査等を継続して、産業公害及び都市・生活型公害を防止するための取組が重要です。

(4)市民・団体・事業者・行政が一体となった環境保全活動の推進

環境保全は、市民・団体・事業者・行政がそれぞれの知識や技術を生かして主体的に取り組むことが必要です。地域環境の状況を共有しながら、活動を促進することが求められています。



後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
環境保全の満足度(アンケート結果)	91.5% (2022)	UP
環境活動参加団体数(環境美化活動等)	41 団体 (2021)	120 団体

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	ふるさとの貴重な自然や動植物の適正な保護に努めます。		希少野生生物保護 特定外来生物駆除 環境団体の活動支援
	環境保全に対する意識の啓発を行います。	●	環境保全に関する普及啓発 市民参加型イベントの実施 環境教育の推進 ◇ 市民環境セミナー開催
	公害防止対策を強化します。		騒音・振動・悪臭の測定及び指導 公共用水域及び地下水の水質調査 環境パトロールの実施
	市民の美化意識を高め、市民との協働による環境美化活動を促進します。	● ●	市民協働環境美化活動支援(自治会による側溝清掃など) ○ スポーツごみ拾いやウォーキングごみ拾いの実施

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



関川清掃活動



親子環境セミナー

関連計画

- 第二期 関市環境基本計画(2023~2042)
- 地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(2006~)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

施策 28 循環型社会



めざす姿

○環境に対する市民意識が高く、ごみの分別とリサイクルが徹底されているため、きれいなまちが保たれています。

現状・課題

(1)ごみの減量化

人口減少に伴い家庭ごみの総排出量は減少していますが、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量は横ばいであることから、ごみの減量化に向けた一層の取組が必要です。

(2)再使用の促進

資源循環型社会の実現に向けて、市民生活の中でごみをできるだけ出さない工夫とあわせて、物を大切にしながら繰り返し使うなど再使用の取組が求められています。

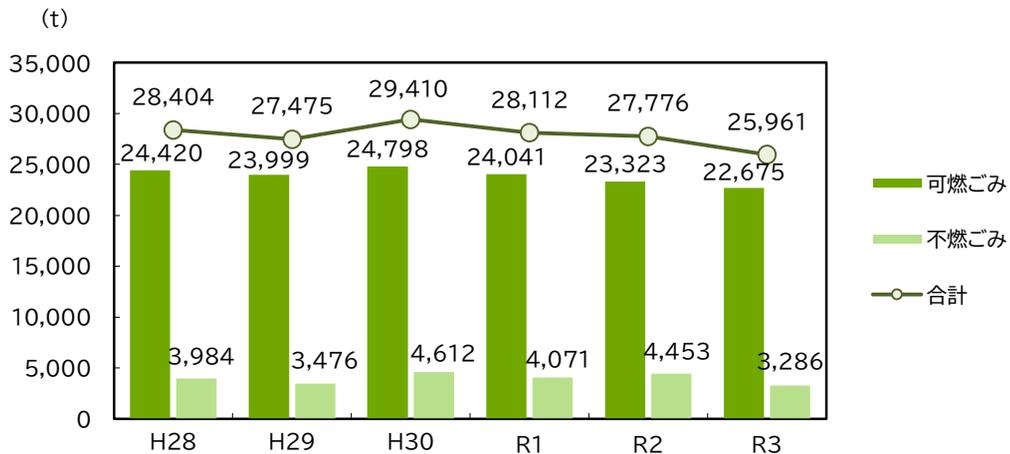
(3)分別方法の周知

ごみステーションには、ルールが守られていないごみが見られ、ごみに関するアンケートによると、半数の市民はごみの出し方で困ったことがあると回答しています。ごみの適正処理を進めるためには、正しい分別方法の周知が必要です。

(4)ポイ捨てや不適正処理対策

不法投棄や野外焼却などにより不適正に処理された廃棄物は、有害な物質を発生するおそれがあることから周辺環境や人々の健康面への影響が懸念されており、適正処理に関する啓発が求められています。

■年度別ごみ排出量



資料:環境課

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
循環型社会の満足度(アンケート結果)	88.9% (2022)	UP
1人1日当たりのごみ排出量(一般廃棄物処理事業実態調査より)	870g (2021)	906g

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	ごみの減量化を啓発・推進します。		生ごみたい肥化装置等購入補助 ごみ分別ホームページやガイドブックの作成 食品ロスに対する啓発 中濃地域広域行政事務組合の負担金
	再資源化を促進します。	●	資源ごみ集団回収事業の奨励 ◇ 不用品交換や再利用しやすい仕組みづくり(ジモティー、リユースマルシェ) 3Rの取組の情報発信 プラスチックごみの回収・適正処理の検討
	廃棄物の適正な処理を促進します。		ごみ分別アプリの利用促進 適正な処理方法の周知
	不法投棄・不適正処理を防止します。		不法投棄・不適正処理の監視・指導 廃棄物パトロールの実施

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



かんたんリメイク講座



環境フェアでの資源ごみ分別体験

関連計画

○第2次関市一般廃棄物処理基本計画(2021~2035)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

施策 29 脱炭素社会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



めざす姿

○市民・団体・事業者・行政が一体となって、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの排出量削減を意識して行動しています。

現状・課題

(1)ゼロカーボンシティ宣言

本市は地球温暖化対策として、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティ宣言をしました。

(2)再生可能エネルギーの活用

太陽光、小水力、バイオマスエネルギーなど環境負荷の少ない自然エネルギーを有効に活用する取組が必要です。

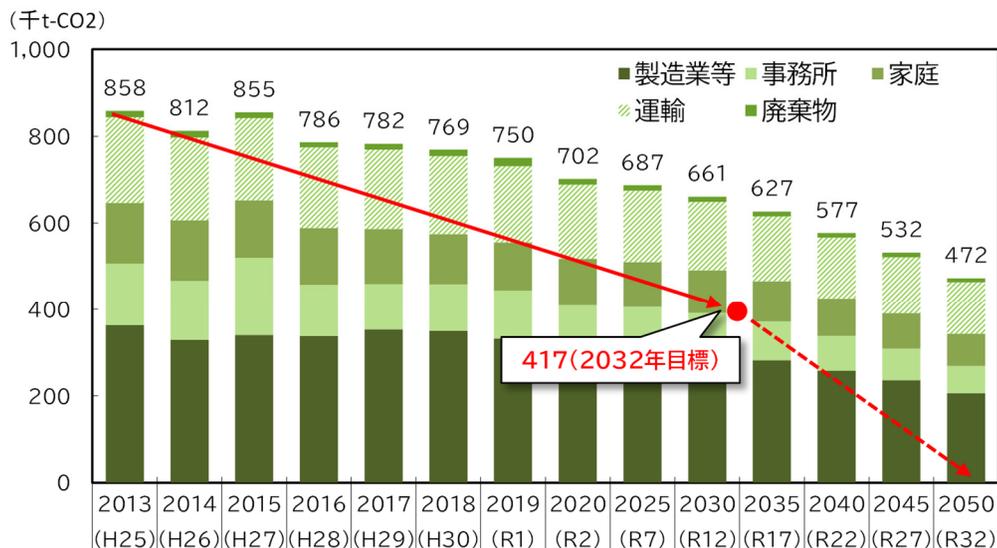
(3)二酸化炭素排出量の把握と削減

カーボンニュートラルを達成するための出発点として、二酸化炭素排出量の把握を進めることが重要です。また、公用車や公共施設のエネルギー排出量を削減するため、電気自動車購入や照明のLED化を推進する必要があります。

(4)市民・団体・事業者・行政が一体となって取り組む脱炭素社会の実現

家庭・学校・地域・職場など様々な場において、一人ひとりがそれぞれの立場で自分のできることを取り組むことが重要です。あらゆる年齢層を対象とした環境教育を推進し、脱炭素社会への行動に結び付ける啓発を推進する必要があります。

■関市の温室効果ガスの排出量の推移と推計・目標



資料：環境課

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
脱炭素社会の満足度(アンケート結果)	—% (2023~)	UP
市民向け脱炭素啓発活動の参加者数(市民向けセミナーなど)	87人 (2021)	300人
市の公共施設における温室効果ガスの排出量(環境基本計画)	20,473t-CO2 (2020)	16,364 t-CO2

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	ゼロカーボン化への機運醸成に向けた普及啓発を推進します。	●	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 市民及び事業者に対する普及啓発 ○ 市民参加型イベントの実施(脱炭素チャレンジ)
	再生可能エネルギーの普及に取り組みます。		<ul style="list-style-type: none"> ◇ 太陽光発電等の導入補助 ◇ 市民や事業者への広報活動 ○ 再生可能エネルギー導入構想の策定
	エネルギー使用量を削減します。		<ul style="list-style-type: none"> ○ CO₂排出量の調査実施 ◇ 電気自動車の購入促進 ◇ 公共施設のLED化の促進
	あらゆる年齢層を対象にしたゼロカーボンに関する環境教育を推進します。	●	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ゼロカーボンに関する環境教育の推進 ◇ 地元企業・経済団体との協力 ◇ 学校教育との連携

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



学校での環境教育

関連計画

○第二期 関市環境基本計画(2023~2042)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7

施策 30 医療保険

めざす姿

○全ての人が安心して医療を受けられるため、健康に過ごすことができます。

現状・課題

(1) 保健事業の効果的な実施

医療費の増大抑制と健康寿命の延伸を目指すため、特定健診の受診を促進していますが、本市の受診率は県平均値を下回っています。特に、受診率が低迷している 40 歳代から 50 歳代の特定健診受診率を向上させる取組が重要です。

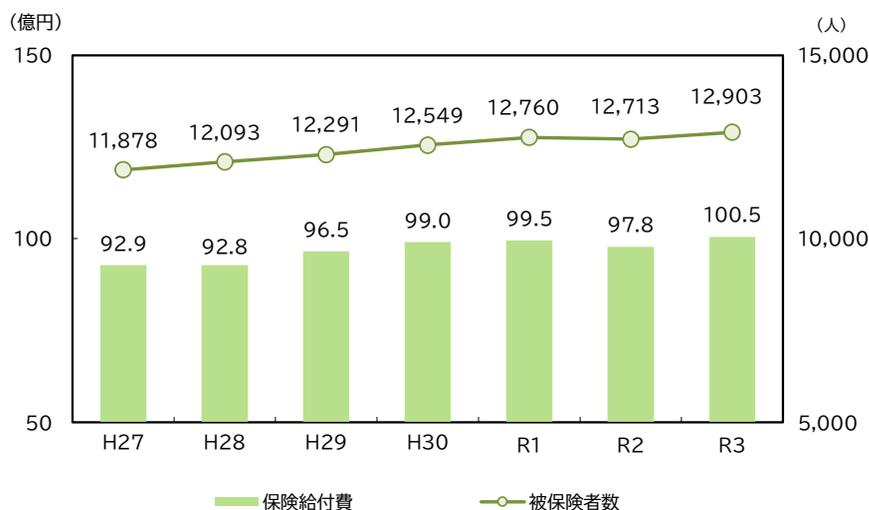
(2) 後期高齢者医療保険制度の医療給付費の増加

後期高齢者医療保険は、高齢化により被保険者と医療給付費の増加が見込まれています。被保険者の疾病予防の取組を進め、病気の早期発見を促すことで、重篤化を防止していくことが必要です。

(3) 高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施

生活習慣病等の重症化予防やフレイル予防等、高齢者の心身の多様な課題に対応することが今後ますます重要となっています。後期高齢者の健康寿命の延伸のためには、国民健康保険から後期高齢者医療保険にわたる継続した保健事業や、介護保険の地域支援事業との連携による一体的な実施など、きめ細やかな支援が求められています。

■ 後期高齢者医療保険制度被保険者数と保険給付費(年度)



資料：岐阜県後期高齢者医療広域連合

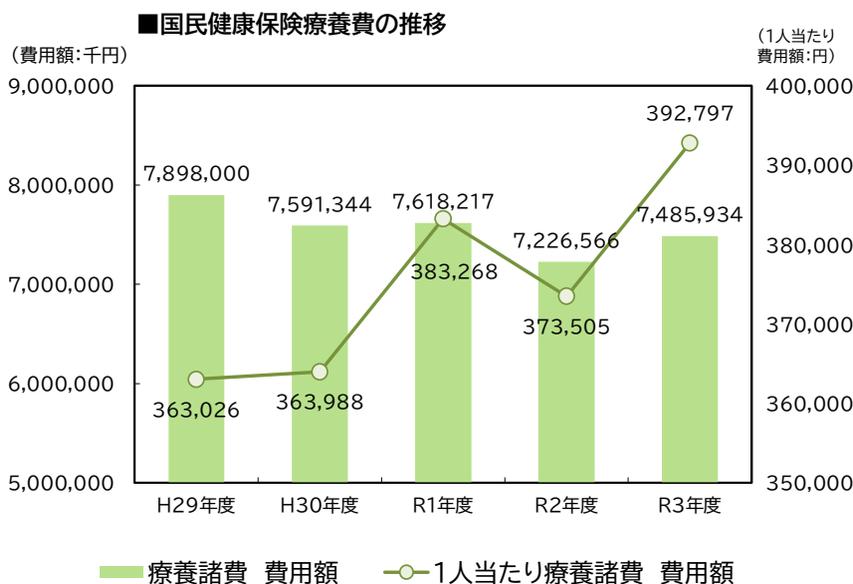
成果指標

指標	後期当初値	目標値(2027)
医療保険の満足度(アンケート結果)	81.7% (2022)	UP
特定健診受診率(特定健診受診者数÷対象者数)	35.3% (2021)	60.0%
ぎふ・さわやか口腔健診受診率(口腔健診受診者数÷対象者数)	2.1% (2021)	6.0%

取組

重点	取組の方向性	SEKIism	取組の主な内容
	国民健康医療保険制度の適切な運用を図ります。		休日納税相談の実施 ◇ 特定健診の受診率向上のための啓発 医療費の通知 ジェネリック医薬品の利用促進 データヘルス計画の推進
	後期高齢者医療制度の適切な運用を図ります。		ぎふ・すこやか健診の実施 ぎふ・さわやか口腔健診の推奨 休日納税相談の実施
	介護予防事業と連携した保健事業を実施します。		高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(後期高齢者へ移行する際の切れ目ない健康・介護予防支援)

新規の取組は○、拡充する取組は◇としています。
「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



資料: 保険年金課

関連計画

○関市国民健康保険保健事業実施計画〔データヘルス計画〕(2018~2023)

後期基本計画

施策1

施策2

施策3

施策4

施策5

施策6

施策7